

専門家による技術情報の発信

1. 廃棄物資源循環学会「災害廃棄物対策・復興タスクチーム」

(1) 災害廃棄物対策・復興タスクチームの主たる活動と取り組み

廃棄物資源循環学会では、東日本大震災に伴う災害廃棄物問題に関して、直近でできる地域支援を行いつつ、取り組むことのできた調査研究の成果を、学術的・体系的な知見として記録として残すことを目的に、地震発生の1週間後、2011年3月18日に「災害廃棄物対策・復興タスクチーム（以下、タスクチームと称する）」が発足させた。

【タスクチームの主たる活動】

- 1) 災害廃棄物に関連する情報プラットフォーム形成
- 2) 災害廃棄物対策ネットワーク形成と現地支援
- 3) 災害廃棄物に関する学術的記録と指針づくり

具体的には、災害廃棄物情報ウェブを開設し、災害廃棄物に関する既往情報を提供し、タスクチームメンバーが、今回の災害廃棄物に関する個別推計などの研究成果や現地速報を得た場合には、新規情報をウェブに提供してきた。タスクチームは、東日本大震災発生後に災害廃棄物問題を検討するべきということで自然発生的に集まったメンバーで構成されており、災害廃棄物問題に関心があり、何らかの貢献見通しのある学会非会員にも門戸は開く運営が行われてきた。

タスクチームのウェブには、廃棄物処理に関する国の指針や既報の知見について、その資料名と概要が紹介されている。災害時には、個別の災害の特徴があり、最初からすべて必要な情報が示されているわけではない。特に想定外の事態が続いた災害時には、状況に応じて暫定的なルールが設けられたり、指針が示されたりすることもあり、速報性のある双方向の情報プラットフォームが有効である。

表 廃棄物資源循環学会「災害廃棄物対策・復興タスクチーム」の歩み

年月日	活動事項
2011年3月11日	東日本大震災発生
3月14~17日	災害廃棄物問題への取り組み方針に関する議論
2011年3月18日	「災害廃棄物対策・復興タスクチーム」の発足
2011年3月21日	タスクチームのウェブ配信開始
2011年3月25日	現地派遣メンバー仙台市到着
2011年4月4日	「災害廃棄物分別・処理戦略マニュアル」第1版の発出
2011年4月5日	日本学術会議「震災廃棄物対策と環境影響防止に関する緊急提言」
2011年4月30日	学会主催「東日本大震災の災害廃棄物に関する緊急報告会」
2011年7月5日	津波堆積物処理指針（案）発出
2011年8月2日	災害廃棄物の燃焼試験に関する報告
2011年10月17日	ISWAにおけるDisaster Waste Managementシンポジウム
2011年11月4日	東日本大震災由来の廃棄物の処理に関する特別シンポジウム
2012年5月	「災害廃棄物分別・処理戦略マニュアル」出版
2012年10月22日	年次研究発表会にて災害廃棄物管理の日韓国際シンポジウム

(2) 災害廃棄物分別・処理実務マニュアルの発出

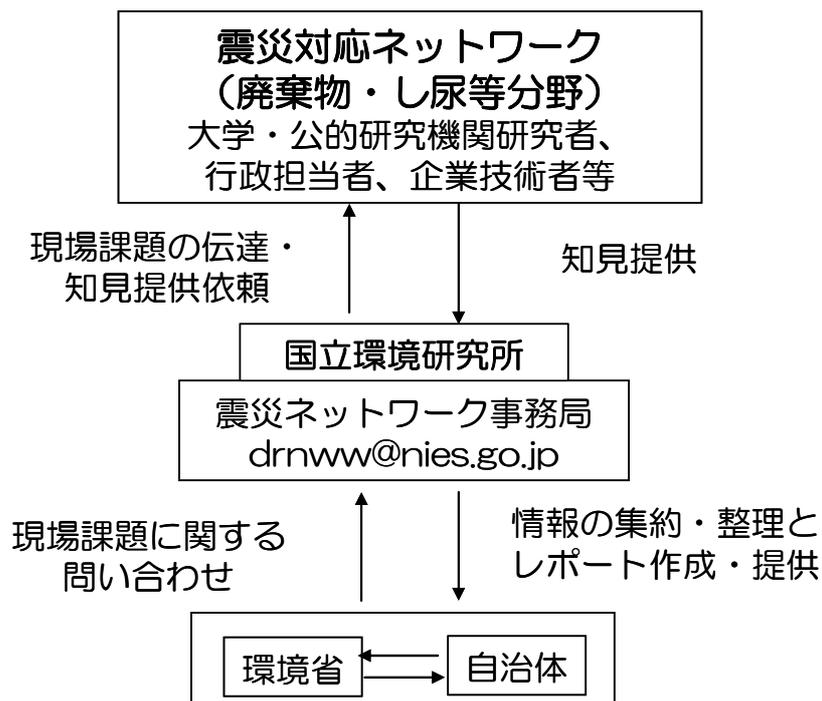
処理（リユース・リサイクルを含めて）を見据えた分別戦略を含めて、災害廃棄物の分別、リサイクル、処理処分のフローがタスクチームにより取りまとめられた。このフローに沿って、災害廃棄物分別・処理戦略マニュアルが用意されているが、これはタスクチーム活動の初期（2011年4月4日）に初版をまとめ、ウェブ上に公開されたものである。その後の知見を含めて2012年5月には出版公開されている。このマニュアルは、環境省の震災廃棄物対策指針や水害廃棄物対策指針に沿いつつ、より現場で活用しやすいガイドに深化させることを意識したものとなっている。国連の災害廃棄物対策指針も参考としている。加えて、仙台市では先進的に廃棄物処理の検討が進められてきたが、その実際の動きをベースに、専門家内部での議論を加えて作成していったものとなっている。



2. 震災対応ネットワーク（とりまとめ：国立環境研究所）

(1) 震災対応ネットワークの構築

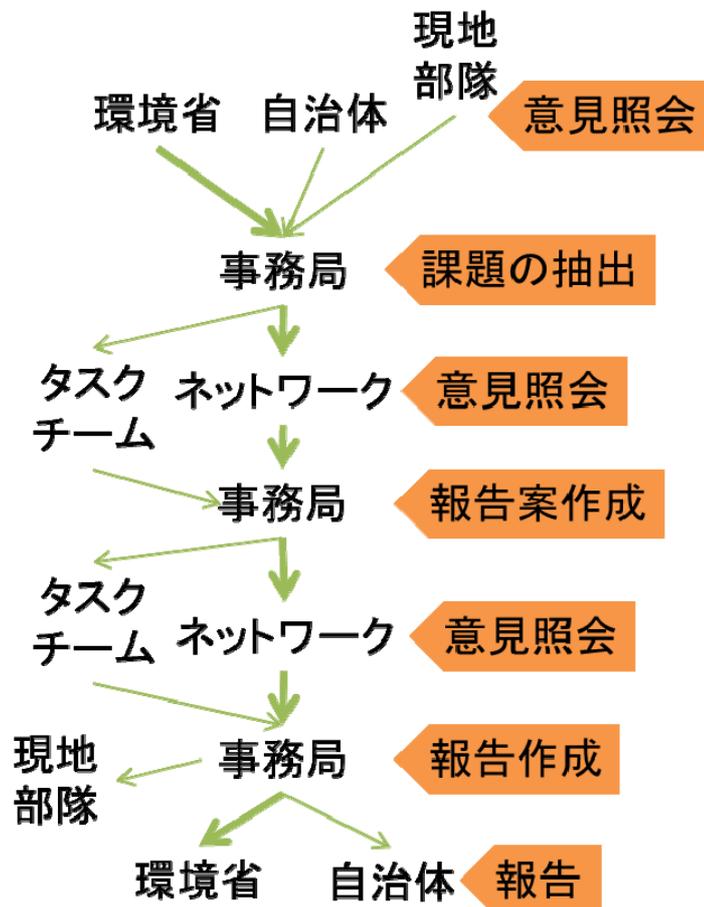
東日本大震災では、発生した廃棄物や被災地の生活で発生する廃棄物等について、環境省や被災地地方公共団体等からよせられる課題に対して技術的観点から支援するため、**全国の大学、国及び地方の研究機関地方公共団体、関連団体、民間等の知識・技能を有する方々から構成される「震災対応ネットワーク」が構築**された。平成23年3月～4月を中心に、廃棄物資源循環学会災害廃棄物対策・復興タスクチームと連携して活動が行われた。



(2) 震災対応ネットワークの活用による各種技術情報の作成・提供

震災対応ネットワークの活用により、環境省や被災地方公共団体からの技術的課題に対して、各種技術情報（技術報告）を迅速に提供することで、災害廃棄物等の適正処理の確保に貢献した。提供した各種技術情報は環境省からの通知類に反映された。

【技術情報提供までの流れ】



【各種技術情報（技術報告）】

- ・ 水産廃棄物の処理方法について（第二報）（平成 23 年 3 月 27 日発出）
- ・ 塩分を含んだ廃棄物の処理方法について（第三報）（平成 23 年 3 月 30 日発出）
- ・ 仮置場の設置と留意事項（第一報）（平成 23 年 4 月 1 日発出）
- ・ PCB含有廃棄物について（第一報：改訂版）（平成 23 年 4 月 1 日発出）
- ・ 災害廃棄物の重量容積変換について（第一報）（平成 23 年 4 月 1 日発出）
- ・ 下水の処理方法について（第一報）（平成 23 年 4 月 5 日発出）
- ・ 津波堆積物への対応について（第二報）（平成 23 年 4 月 6 日発出）
- ・ 災害廃棄物の野焼きについて（第一報）（平成 23 年 4 月 12 日発出）
- ・ 仮置場の可燃性廃棄物の火災予防（第一報）（平成 23 年 5 月 18 日発出）
- ・ 津波被災地域において浄化槽を撤去する際の汚泥の処理方法（第一報）（平成 23 年 5 月 30 日発出）
- ・ 廃石膏ボードの取扱いについて（平成 23 年 6 月 24 日発出）
- ・ 災害廃棄物の発生原単位について（第一報）（平成 23 年 6 月 28 日発出）
- ・ 仮置場の可燃性廃棄物の火災予防（第二報）（平成 23 年 9 月 19 日発出）